

平成23年度大阪医科大学医師会総会報告

中央検査部 村尾 仁

日 時 : 平成23年6月14日(火) 18時30分～
場 所 : 第2会議室(総合研究棟12階)
議 長 : 平松 昌子(理事)
出席者 : 河野、木下、田中、平松、上杉、村尾、白田、
鳴海、岡田、土居、森田、東、元村、神原
(出席者14名、委任状240名 計254名
医師会員数490名の過半数により会議成立)

1. 平成22年度事業報告(河野会長)

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が455名(3月31日現在)となり、前年度末より38名増となった。
医師会費未納者が劇的に減少し、医師会費未払い分を84万3千円回収した。
ホームページには、会報を創刊号から35号まで掲載した。
医師会事務所の場所を知らない会員が多いので、研究棟1階の掲示板に医師会の連絡先と地図を掲載した。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

「大阪医科大学医師会報」(年2回発行)の特集として第34号(9月発刊)では「看護学部創設にあたって一建前より本音」を、第35号では「リハビリテーションの今」を特集として掲載した。

大阪府医師会地域医療活動支援事業の助成対象事業に、「特定健康診査・特定健康保健指導の実施率向上と生活習慣病の予防対策」が継続選定されて100万円の助成を受け、今年度で研究を終了し、大阪府医師会医学会総会で発表した。

学会等助成金は、平成22年度分3学会計30万円を助成し、平成23年度分の公募と選考を行い、公募件数5件全件に助成することが決まった。

北摂四医師会医学会総会が、6月19日(土)に開催され、禁煙についてのシンポジウムを行い、一般演題6題の発表があった。

分科会は、「骨盤疾患フォーラム」が新設され分科会数は16となり、研究会を計10回開催した。産業医講習会も3回開催した。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、大阪医科大学医師会内に事務局を開設し、積極的に活動を行った。中でも初めて開催した第2ブロック研修会では、「男女共同参画 女性医療人の豊かな未来のために キャリア形成と子育てとの両立支援」と題した特別講演にコメディカルも含めて多くの女性が参加した。また、「コメディカルを対象とするアンケート調査」を第2ブロック委員が勤務する総合病院および急性期病院の3196名を対象に実施する準備を進めている。

3) 大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会や代議員会、勤務医部会第2ブロックをはじめとする各種部会や委員会に積極的に参加した。

全国大学医師会連絡協議会の総会が8月26日(月)に東京で開催され、臼田会計が参加した。在阪5大学医師会懇談会は、平成22年度も開催されなかった。

2. 平成21年度会計報告・会計監査報告（臼田会計）

全会一致で承認された。

3. 平成23年度事業計画（河野会長）

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が490名(平成23年5月31日現在)となった。大阪府医師会代議員数は、会員数に比例して割り当てられるので、会員数が増えると発言権が増す。

石原理事(内科学I)の退職に伴い、大阪府医師会代議員をも兼ねる理事の後任を梶本医師(脳神経外科学)に、梶本医師の理事就任に伴い空席となる予備代議員を萩森医師に委嘱することとなり、全会一致で承認された。また、石原理事が兼務していた内科学Iの評議員については、内科学I内で決めて会長に報告することとなった。

日本医師会が呼びかけている東北地方太平洋沖地震災害救援のための義援金に、大阪医科大学医師会から100万円、個人会員から10万円、計110万円の募金を行った。この義援金の用途は、1)避難所等で診療行為を行う被災した医師への支援、2)仮設診療所の設置、3)被災した医療機関の復旧支援、4)被災した医師会の支援等である。

臼田会計より、大阪医科大学医師会預金のペイオフリスク分散のために、三井住友銀行定期預金7月4日満期分の一部を、大阪府医師信用組合定期預金に移行することの提案があり、全会一致で承認された。大阪府医師信用組合は、大阪府医師会会員・その家族と郡市区等医師会のみが利用できる金融機関であり、金利は都市銀行に準じている。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

例年通り、「大阪医科大学医師会報」(年2回発行)、「北摂四医師会医学会記録集」(年1回発行)を行う。会報36号は、特集として「東日本大震災」を掲載する予定で、見ごたえのある号となる見込みである。発行部数を通常より300部多い1000部とし、省庁・現地の地方自治体・岩手医科大学等にも発送を予定している。学会等助成金は、昨年度選考した5学会に各10万円を助成し、平成24年度助成公募を10月1日より開始する。

北摂四医師会医学会としては、6月18日(土)に第20回医学会総会が茨木市医師会の当番で実施される。分科会では、「ほくせつフットケアカンファレンス」が新設された。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックでは、昨年度に引き続き積極的に活動を進

めている。北摂四医師会医学会総会で、一般演題のうち発表者に勤務医が含まれる演題の中から、優秀演題賞3題を選考し、各5万円の褒賞を出すことになった。また、第2ブロック研修会を1月14日(土)に、第1~4ブロック合同懇親会を秋頃に予定している。昨年度より準備を進めている「コメディカルを対象とするアンケート調査」は、7月上旬にアンケート票を配布し、11月の大阪府医師会医学会での発表を予定している。

3) 在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

在阪5大学医師会との懇談会への参加は元より、高槻市・茨木市・摂津市医師会との連携を深めていく。

例年通り、大阪府医師会郡市区等医師会長協議会、大阪府医師会代議員会、大阪府医師会各種委員会、ならびに全国大学医師会連絡協議会等にも参加する。

4. 平成22年度予算案(臼田会計)

全会一致で承認された。

5. その他(河野会長)

1) 平成23年度学会等助成金贈呈式の実施

選考された5つの学会の会長に、助成金の目録を贈呈した。

2) 役員委嘱について

各役員は、本日より2カ年を任期(再任は妨げない)とすることとし、委嘱状を発行することとなった。

3) 繰越金について

任意団体には繰越金が多いので、その適正値等を教えて欲しい。適正な事業をして減少させたいので、案があれば事務局宛にメールを欲しい。

以上